

つなぐ

Vol.149

2023
Winter

令和5年1月1日

発行人 長野県民生児童委員協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 広報委員会
委員長 月岡 幽美子

〒380-0936
長野市大字中御所字岡田98番地1
(長野県社会福祉協議会内)

Contents

- ◆ 新年のあいさつ
阿部守一長野県知事、伊藤篤志会長 2
- ◆ 県民児連 新役員のご紹介 2
- ◆ 保存版! 特別企画「つなぐ大図鑑」 3~5
- ◆ 民児協訪問
伊那市北部地区民生児童委員協議会 6
千曲市東部地区民生児童委員協議会 7
- ◆ 被表彰者ご紹介 8

令和5年(2023) 新年のごあいさつ



長野県知事
阿部 守一

新年明けましておめでとうございませう。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は3年に1度の一斉改選が行われ、多くの新任委員の皆様をお迎えして、新たな体制での活動がスタートしました。民生委員・児童委員の皆様には、日々、住民の身近な相談相手として、地域福祉の中心的役割を担っていただいていることに、心より感謝申し上げます。

さて、私は昨年8月の県知事選挙で負託をいただき、四期目の県政を担わせていただくこととなりました。県政課題が山積している折から、改めて知事として



民生委員協議会
児童委員会
委員長
伊藤 篤志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和2年春早々の新型コロナウイルス感染症拡大は、私達の日常生活、社会経済活動を大きく変化させました。民生委員活動においても、定例会、研修会、地域福祉活動、地域のイベントなど行事の中止や延期、開催方法の見直しが求められ、交流や勉強会などに大変なご苦労をいただきました。昨年7月29日安曇野市豊科公民館で開催予定の「第25回長野県民生

の責任の重さを自覚し、初心を忘れることなく、県民の皆様へのあわせと長野県の発展に全力を尽くしてまいりたいと考えています。もとより県政は県民の皆様のために存在します。「対話と共創」を基本とした「県民起点」の県政を推進するため、まず優先して取り組むべき選挙公約の項目を「スタートダッシュ・アクション2022」として取りまとめ、昨年10月には、私自身が県内全市町村を訪問する「県民対話集会」や、県民・企業等と予算を共に創り上げる「県民参加型予算」の試行をスタートさせました。今後も、県民の皆様

の思いに寄り添い、共に考え、行動してまいります。今年の4月からは、次期総合5か年計画が始まります。計画の基本目標として、「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」を掲げたいと考えています。これには、新型コロナウイルスや物

価高騰、気候変動とそれに伴う災害の激甚化、少子化や担い手不足など、かつてない危機的な状況を克服し、県民の皆様への命と暮らしを守るとともに、物質的にも精神的にも満たされた、真にゆたかな社会をこの信州から創っていくとの強い想いを込めています。

また、新しい時代に向けて、特に力を入れて進めていく政策については、新時代創造プロジェクトとして位置づけ、部局の枠を超えて重点的に取り組んでいく考えです。とりわけ、女性・若者から選ばれる県づくり、持続可能な脱炭素社会やデジタル・最先端技術を活かした社会の実現などについて、社会経済システムの大きな転換を図っていきけるよう、具体的な施策を構築してまいります。

結びに、今年一年の皆様のご健康と御多幸をお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

委員児童委員大会」も残念ながら中止せざるを得ませんでした。こうした中、「第91回全国民生委員児童委員大会(愛知大会)」は、10月19日〜20日に名古屋

市において開催することができました。大会では子どもの最善の利益を第一に考えた「こどもまんなか社会」の実現に向けた司令塔として、令和5年度に「こども家庭庁」が設置されることから、委員

は子どもへの支援のみならず、家庭全体への支援の視点を持ち活動することが重要とされました。大会宣言では、コロナ禍にあっても地域で支援を必要とする人びとへの見守りや相談活動を継続し、地域の幅広い関係機関と連携して地域共生

社会づくりに取り組みむこと。委員が率先して地域の子育て応援団となり、子育て

家庭が安心して暮らすことができる地域づくりに取り組みむこと。民生委員制度の周知を図り、民生委員活動、主任児童委員活動の正しい理解の浸透に取り組みむことが採択され、結びとなりました。

さて、昨年12月の一斉改選で新任委員の割合は県全体で約6割にも及びます。活動のやりがいや、楽しさ、学びについて、相互での共有や支え合いを図り、できれば2期以上続けていただき、地域の皆様と築いた顔の分かる信頼関係を継続して、見守り活動につなげられるよう願

います。コロナ禍でも工夫できることを踏まえてしっかりと準備いたしましょう。年頭にあたり皆様のご健康と御多幸、ご活躍を祈念申し上げ新年の御挨拶といたします。

長野県民生委員児童委員協議会連合会 新役員のご紹介

(令和4年12月1日～令和7年11月30日)

会長	伊藤 篤志	長野市	監事	櫻井 朝教	軽井沢町	評議員	宮原 勝	伊那市	評議員	濱田 政常	千曲市
副会長	松嶋 隆徳	安曇野市	顧問	草深 邦子	松本市	〃	三沢 文	宮田村	〃	宮林 幸五子	小川村
〃	小平 實	佐久市	〃	椎名 佑平	飯田市	〃	胡桃澤 恭志	飯田村	〃	田中 明	高山村
〃	山浦 泰子	市川市	評議員	中山 孝一	小諸市	〃	小野 隆一	阿智村	〃	塚田 明	坂城町
理事	古川 友枝	上田市	〃	由井 健一	川上村	〃	高田 伸一	大桑村	〃	吉家 一雄	中野市
〃	小島 光治	諏訪市	〃	依田 政一	東御市	〃	中澤 秀貴	松本市	〃	久保田 桂子	飯山市
〃	秦 嘉雄	飯田町	〃	北澤 久美子	青木村	〃	手塚 澄義	塩尻市	評議員	(主任児童委員) 栗林 正直	小諸市
〃	原 秀行	曾根町	〃	田村 茂正	岡谷市	〃	高橋 正明	朝日村	〃	宮坂 紀会子	伊那市
〃	中山 博	池田町	〃	岡崎 咲穂	茅野市	〃	伊東 敏子	長野市	〃	安坂 丸山	松本市
〃	廣瀬 幸利	栄村	〃	〃	富士見町	〃	中澤 永	須坂市	〃	丸山 明美	飯山市



「長野県民生児童委員だより」として平成23年4月より「つなぐ」は年4回発行しています。座談会や取材、専門家へのインタビューを通して、地域に根ざした活動や直面している課題などを取り上げてきました。

「つなぐ」は県民児連ホームページでも公開しています。

今回、特集テーマをカテゴリー分けして紹介します。ホームページから記事をダウンロードしていただき、定例会や研修でコピーを配布するなど、今後の活動にご活用ください。



www.nsyakyo.or.jp/minjiren/kaiho/

長野県民生児童委員だより

検索

保存版！ 特別企画

「つなぐ 大図鑑」



民生児童委員の原点

147号

民生児童委員の原点を学ぶ

民生児童委員制度の原点「方面委員制度」の立役者で上田市出身の小川滋次郎博士についての紹介。そして民生委員が深く関係する「長野県共同募金会」の歴史や活動の重要性についてのインタビュー一記事です。



127号

民生児童委員活動の現状と課題

民生委員制度100周年を前に行われた「活動環境の整備に関する検討会」の報告書を抜粋。活動の課題や対応、民生児童委員の役割の基本を学べる特集です。



新任委員向けの特集記事

139号

座談会 新人委員へ先輩委員が経験を語る

県民児連の伊藤会長も参加し、茅野市・佐久市・安曇野市・長野市(主任児童委員)のベテランの委員のみなさんが、民生児童委員のやりがいや喜び、苦勞を乗り越えた経験談。そしてコミュニケーションの大切さなどをお話しています。



129号

座談会 新任委員4人が語る

新任委員が活動をスタートして約5ヶ月。松代町・岡谷市・上田市・松川村の各新任委員が、引き受けた経緯や活動での戸惑いなど、その胸の内を語り合います。ぜひ新任の委員の皆さんに読んでほしい内容です。



128号

座談会 新任会長への研修報告・新人研修ルポ

新任の会長研修をまとめた貴重な特集です。大学教授から講義「今日的な福祉・生活課題と民児協会長の役割」についての内容と、飯田市と安曇野市のベテランの会長から「民児協運営・活動の進め方」のヒントを掲載。



123号

座談会 会長と新人の座談会

新人委員2名と会長2名で課題ややりがい、そして任期について考えました。半数以上が1期目という環境で、苦勞している点を率直に語っています。また、2期以上続けることで得られる信頼ややりがいについても一読の価値ありです。



119号

座談会 新人トーク(女性の委員にフォーカス)

かつては男性中心の民生委員でしたが、現在は女性の委員の割合が男性をはるかに超えてきました。女性の新人委員の直面する課題や、女性だからこその活動のしやすさについて語り合った珍しい特集です。



106号

座談会 新人トーク

「つなぐ」初の座談会の記事です。2011年夏に開催。その責任に戸惑いつつも、見守っている当事者から「ありがとう」の一言があり、「支え合いの基本」や、「自分達の役割の大切さ」に気づく姿が印象的です。





見守り活動とその事例

137号

地域に沿った連携の見守り活動

県内3ヶ所の見守りを目的にした活動を紹介。自治組織や行政、NPOなどと連携した、飯田市南信濃地区の「地域福祉プロジェクト」、長野市大豆島地区の「ご近所支え合い見守りガイド」・栄村「げたばきヘルパー」の活動を掲載しました。



124号

見守りへの取り組み

長野市の民間業者と民生委員が提携する「孤立防止・見守りネットワーク事業」の紹介。男性の見守りにスポットを当てた長和町メンズサロン、松本市団地の見守りへの取り組みを取材しています。



災害の報告と災害への備え

146号

災害への備えを考える

松本市の要支援者名簿提供とスマホでの緊急連絡、民生児童委員も各地域で関わる「災害時住民支え合いマップ」作成と、それに伴う支援の優先順位を表す「ABCアセスメント」について説明しています。



140号

台風19号被災地域の現状を聞く

令和元年東日本台風で千曲川が決壊し被害が最も大きかった長野市長沼地区。被災から3ヶ月後、伊藤県民児連会長が住民自治協議会会長と、現地の民児協会会長を訪ね、安否確認の課題が浮き彫りとなりました。



126号

災害に備える民児協活動と災害時での民生委員・児童委員活動

長野市で開催した第23回長野県民生児童委員大会のシンポジウムでは災害をテーマとしました。白馬村・王滝村・栄村の被災時の民生児童委員の体験をそれぞれ発表しました。



120号

神城断層地震、白馬村で民生委員がどう動いたか

平成26年11月に起きた神城断層地震。3ヶ月後に最も被害の大きかった白馬村を訪ね取材しました。事前に防災マップ作りを地域で連携して行っていたことが被害を最小限にした要因であるという事実がわかりました。



107号

松本地震の現状と報告

平成23年6月に発生した長野県中部地震。松本市では隣組単位の安否確認など地域でのさまざまな団体との連携や、個人情報に配慮しつつもどう共有するか、などを詳しく説明しています。



105号

栄村訪問 震災対応の現状を知る

平成23年3月12日に発生した長野北部地震。直撃した栄村を2ヶ月後に訪ねました。日頃から顔の見える関係づくりができていたことで、一人も取り残さず声を掛け避難できたというリアルな体験を綴っています。



児童委員の役割

134号

児童虐待防止とオレンジリボン運動

子育て支援シリーズとして、「オレンジリボン運動」について紹介。特に長野市の主任児童委員部会によるオレンジリボンづくりと啓発活動を取材しました。



133号

佐久市子育て支援4者連絡会

佐久市のスクールメンタルアドバイザーの活躍にスポットを当てました。毎年開催する4者連絡会議では小地域に分かれて民生児童委員・児童館長・校長が細かく情報交換しています。



132号

(主任) 児童委員の役割とは

県民児連主催で「子育て支援を語るつどい」を上田市で開催。講演の「子どもを育み守る地域づくりと民児協活動」をまとめました。グループワークで学校や子ども食堂との連携にも触れています。



130号

児童委員の役割を考える

平成8年から年2回発行が続く豊科地区「子育て通信」の編集会議を取材。平成12年から茅野市が全国に先駆けてスタートした「セカンド・ブック・プレゼント」への民生児童委員の協力活動を紹介。



125号

子どもの見守りを考える

塩尻市のコミュニティスクールの立役者を取材。また長野市松代町での通学の見守り、上田市街地での子育てひろばでの民生児童委員の活動にスポットを当てています。





児童をめぐる状況の検証

145号

松本児童園「児童養護施設と民生児童委員のかかわり」

松本児童園は松本市の民児協が運営に関わっています。現地に訪ね、その経緯や現状を取材しました。県内の児童養護施設のリストも掲載しています。



143号

ひきこもり支援 - NPOを訪ねる -

上州市の「侍学園スクオーラ今人」は宿泊型で生きることを学ぶ授業を実施しています。一方、塩尻市の「ジョイフル」は、相談を中心とした支援。声かけの方法などのアドバイスも。



142号

特集信州子どもカフェ

箕輪町の「放課後子ども食堂」は地域の人や高校生の居場所ともなっています。その様子を現地取材しました。また県内100件を超える「信州子どもカフェ」のリストを掲載しています。



140号

児童虐待の現状と対応

県民児連の子育て環境づくり部会の研修として開催した、長野県中央児童相談所専門員の講話「児童虐待の現状と対応について」を要約して掲載しています。



136号

子どもを取り巻く現状と課題

「離婚と貧困そして子どもへの影響」と題してNPO法人子ども・家庭支援センターHUGの活動と現状を紹介。また子どもの貧困を支えるNPO法人フードバンク信州に支援の現状を聞きました。



コロナ禍の対策

145号

「訪問だより」の事例「コロナ禍で訪問だよりの効果は？」

岡谷地区の手作りの訪問だよりが話題となっています。作り方からその反響まで。民児連のホームページで雛形を提供し、各地に広がっています。



144号

コロナ禍でのふれあいの大切さを考える

コロナ禍となって1年、岡谷市の子育て支援館こどものくにを訪ね母親たちの現状を聞きました。また県長寿社会開発センターの取り組みとしてシニアのコロナ禍での活動を紹介しています。



141号

新型コロナウイルス対策

広報委員から、各地の現状報告と対策を掲載。また災害支援でできた長野市豊野地区の「まちの縁側ぬくぬく亭」の紹介と、コロナウイルスへの対策のポイントをお聞きました。



社会課題について

133号

初期の認知症への対応を学ぶ

市町村に設置されている「認知症地域支援推進員」に、どうしたら初期の認知症に気づく事ができるのかを聞きました。また松本市の医師に地域連携の重要性についてもお話いただきました。



122号

介護の現場を考える

長野市の介護職養成校や飯山市の認知症家族会を訪ねました。そして、松本市のNPO法人峠茶屋を訪ね、グループホームやデイサービス、訪問看護、有料老人ホームなどの現場を紹介しました。



118号

精神障がいについて考える

NPO法人精神保険福祉会連合会理事長(民生委員)にインタビュー。精神障害の正しい知識を掲載しました。また上州市の社会福祉法人まるこ福祉会を訪ね、利用者の姿や支援活動について取材しました。



113号

買い物弱者問題を考える

須坂市豊丘地区の買い物もできるふれあいサロンの取り組みを紹介。また松本市新村地区のプチ送迎ボランティアの活動に実際に同行しました。



110号

生活困窮者家庭への支援

生活福祉資金制度について詳しく解説しています。また相談現場の苦悩と題して社会福祉協議会の担当者にお聞きました。



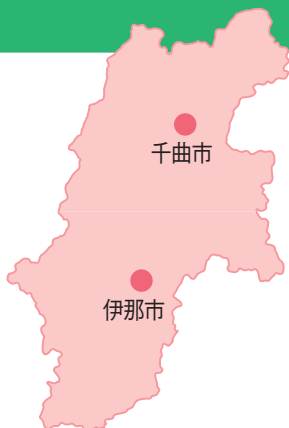
109号

別荘地の問題を探る ~飯綱高原の実態と対策~

行政区に属さない別荘地で、民生児童委員はどう動いたらいいのか。長野市飯綱高原で活動する民生児童委員と自治組織の会長を訪ね、その実態を話していただきました。



訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協
だより



伊那市北部地区民生児童委員協議会

〈昨年10月11日に取材しました〉



▲前列真ん中が宮原勝会長

民生児童委員の負担が大きい地域性。実行力と団結力で新たな仕組み整備に邁進中

改選を控えた10月の定例会は感想発表でした。「家庭のことを話したくないのが明らかな人もいるが、頼りにしてもらえたときは嬉しい」「コロナで活動ができない不安はあったが、みんな温かくしてくれて心からの話し合いができた」「区を抜ける人が増えている。区の役割は何か、助け合いの区にできないものか」など、それぞれの事情と意見が伝わり、形式的な感想はありません。

宮原勝会長が「最初は30秒だったのが翌年は1分。だんだん

ん長くなり今日のようになった」という通り、中には5分以上語る人もいる熱心さが伊那北部地区の特徴です。言い換えると民生児童委員が背負ってしまっている部分が大いというところでもあり、実際「早く任期が終わればいい」「大変だった」の発言も。その理由を「元々が農村地帯なので社協の必要性が低かった」と宮原会長。そこでみんなが協力して新しい社協にしよう、と、社協理事としても先頭に立っているのが宮原会長で、これまで実現させてきたプロジェクトが実行力を証明しています。

養蚕指導員から伊那養護学校勤務の後の2013年から地元有志30人で里山整備を始めました。かつては薪集めなど生活の共有財産として手入れの行き届いていた里山が、暮らし方の変化で放置され赤松の病害も発生、なんとかしようとして動き出します。専門家の参加も得て遊歩道や見晴台、炭焼き小屋などをつくり「上牧里山自然パーク」として今では子どもから高齢者までさまざまな活動の場となっています。自然観察や炭焼きなどの行事で民生児童委員が活躍

しているのはいうまでもありません。

伊那北小学校での「いきいきサロン」は民生児童委員全員参加の「学校応援団」。信州型コミュニティスクール活動の一環として始めたもののボランティア確保が難しく、宮原会長の肝いりで民生児童委員が中核に。おもちゃ作りや遊びの提案など毎月の開催です。宮原会長のポリシーは「良し悪しはともかく自ら提案すること。道筋を作ること」。また「コロナだからできないではなく、この状況の中でできることを考える」。民生委員と同時に会長になったことで当初から指導力を発揮。地域を盛り上げるため、三期目統投で山積みの課題に取り組みうと意欲あ



▲伊那北小学校いきいきサロンは毎月開催

千曲市東部地区民生児童委員協議会

〔昨年10月14日〕
に取材しました



▲前列中央が荻原博会長。改選で残るのは4人のみ

会長は3つの地区からの代表で持ち回り。誰がなっても安定した活動ができる強み

「4人しか残らない」と、荻原博会長が顔をくもらせます。総勢20人の内、前回までは約半分が継続だったのに激減。さらにこの地区伝統の、会長はじめ三役の選出方法が課題に。「誰が会長になっても務まる」の考えのもと、千曲市東部地区を構成する3つの地区が順番で役を持ちまわることになっていくのですが、再任者4人の中から3人を決める事態となっ

たため順番を変更して調整をしました。

荻原会長の属する「雨宮・土口・生萱」地区は、雨宮坐日吉神社境内前での古式ゆかしい踊りと、獅子の頭をつけて橋から逆さ吊りになった若者4人が川の水しぶきをあげながら踊るといって、国の重要無形文化財となっている奇祭で知られる所。古くからの土地に生まれ、地元で育った荻原会長。父が病弱だったため20代で常会長になったのを皮切りに様々な役に就いてきました。

そのため例えば見守り事業で留守宅があっても近所の人からの情報で消息が分かるなど、あまり困難はないといいますが、同時にかつてに比べ隣近所同士の話が少なくなつたとの実感もあります。また「高齢者福祉」「障がい者福祉」「子育て青少年」と並ぶ部会のひとつで会長が所属する「ひとり親家庭等福祉」部会では、対象となる世帯の情報が民生委員に入つてこない」との課題も。雨宮坐日吉神社の隣にある雨宮研修センターで行われる定例会でも、個人情報保護と民生児童委員活動に



▲「雨宮の御神事」で知られる雨宮坐日吉神社に隣接する定例会会場

とつて必要な情報との関係がたびたび話題にのぼるといいますが、委員の裁量に任されている部分が大きいようです。

「コロナ禍でもできることはしよう」と、昨年6月は福島県へ視察に行きました。2019年の台風19号で地区内の川が氾濫、床下浸水の被害が多く発生しました。荻原会長も担当地区内に12人の要支援者がいたため「避難確認を夜中までとつた」という経験からの被災地視察でした。現在72歳。「70代になって体力の衰えを感じる」といいますが、若いころから祖父世代と接する地区活動でお世話になった恩返しをしながら、次世代に引き継ぎたい覚悟です。



表紙写真紹介

火祭りでは日本一 野沢温泉の「道祖神火祭り」

毎年1月15日夜行われ、社殿を守る側の厄年の男達と攻める側の村の男達の間での荒々しい壮絶な攻防戦が見物。平成5年12月に文化庁より国の重要無形文化財に指定された。

撮影

野沢温泉村 前民生児童委員
久保田 真一 さん
(くぼた しんいち)

profile

1953年生まれ。「クボタ写真館」二代目として活躍しています。



表紙写真募集!!

- 表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしている方、民生児童委員の方々の地域の風景やお祭りなどの風物詩を撮った写真を募集します。
- デジカメで撮った作品の電子データをCDRに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局までお送りください。
- 詳細は県事務局(026-225-1613)まで。

厚生労働大臣表彰

令和4年12月7日表彰

◇ 民生委員・児童委員功労者 (4名)

御代田町 佐久市	堀籠 幸子 土屋 珠江	松本市	横山 百合子	須坂市	永田 繁江
-------------	----------------	-----	--------	-----	-------

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

令和4年10月19日表彰

◇ 永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰 (3名)

上田市	増田 宗彦	飯田市	椎名 佑平	安曇野市	松嶋 隆徳
-----	-------	-----	-------	------	-------

◇ 民生委員・児童委員功労者表彰 (9名)

大鹿村 木曾町 松本市	田島 龍二 村瀬 泰信 横山 百合子	松本市 松本市 上田市	中野 京子 宮下 信一 増田 宗彦	須坂市 大町市 佐久市	永田 繁江 齋藤 浩 土屋 珠江
-------------------	--------------------------	-------------------	-------------------------	-------------------	------------------------

◇ 永年勤続民生委員・児童委員表彰 (35名)

立科町 富士見町 箕輪町 箕輪町 根羽村 山形村 松川村 松本市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市	波岡 順子 前田 清美 和田 博 北澤 俊雄 片桐 利江 中村 元美 錦織 明彦 高橋 芳子 高木 澄枝 今井 美保子 森下 貴子 小口 順啓	岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 飯田市 飯田市 飯田市 諏訪市 諏訪市	小口 濱明 濱 真由美 小松 久子 武居 敏明 小林 武人 小口 節子 山口 俊雄 樋口 昭三 福澤 貴庸子 前島 三津江 飯田 敏彦 矢崎 竹代	中野市 中野市 大町市 茅野市 茅野市 東御市 東御市 東御市 東御市 安曇野市 安曇野市	小林 一善 佐藤 禮子 吉澤 百合子 戸田 允文 鶴石 悠紀 依田 政一 檜原 みち代 白石 幸男 宮坂 美代子 深澤 一廣 上條 孝子
---	--	---	--	---	--

◇ 優良民生委員児童委員協議会表彰 (3民児協)

高森町民生児童委員協議会 松本市芳川地区民生児童委員協議会
佐久市浅間地区民生児童委員協議会

(表彰式：第91回全国民生委員児童委員大会 (愛知大会))

長野県社会福祉協議会会長表彰

令和4年11月12日表彰

◇ 社会福祉功労者 民生・児童委員功労表彰 (41名)

軽井沢町 軽井沢町 軽井沢町 軽井沢町 軽井沢町 富士見町 箕輪町 箕輪町 泰阜村 山形村 信濃町 信濃町 松本市 岡谷市	本島 和美 土屋 常男 土屋 征雄 森泉 久雄 土屋 栄衛 前田 清美 和田 博 北澤 俊雄 半崎 和枝 中村 元美 北村 ます代 三澤 敏一 高橋 芳子 高木 澄枝	岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 岡谷市 飯田市 飯田市 飯田市 諏訪市 諏訪市	今井 美保子 森下 貴子 小口 順啓 濱 真由美 小松 久子 武居 敏明 小林 武人 小口 節子 山口 俊雄 樋口 昭三 福澤 貴庸子 前島 三津江 飯田 敏彦 矢崎 竹代	駒ヶ根市 駒ヶ根市 中野市 中野市 大町市 茅野市 茅野市 東御市 東御市 東御市 東御市 安曇野市 安曇野市	山浦 泰子 佐野 榮 小林 一善 佐藤 禮子 吉澤 百合子 戸田 允文 鶴石 悠紀 依田 政一 檜原 みち代 白石 幸男 宮坂 美代子 深澤 一廣 上條 孝子
--	--	---	---	---	---

(表彰式：第71回長野県社会福祉大会)

全国社会福祉協議会会長表彰

令和4年12月13日表彰

◇ 民生委員・児童委員功労表彰 (9名)

御代田町 原村 上松町 木曾町 木曾町 木曾町	柳沢 充夫 五味 勇吉 竹原 敏子 野口 郁夫 塩原 仁 海老澤 玲子	木曾町 須坂市 中野市	田原 寿恵子 細井 洋子 山本 勝宣
--	--	-------------------	--------------------------

(表彰式：令和4年度
全国社会福祉大会)



3年の任期を終えました。
ご協力に感謝申し上げます。

〈広報委員〉
月岡 幽美子
山口 三千夫
赤羽 節夫
林 みな

* 故 熊井文弘顧問にご協力を賜りました。